



正しいしつけは子どもへの贈り物

校長 作田潤一

子育ては難しく、私自身が子育てを通じて人として成長できたように思います。

児童心理学者のステーブ・ビダルク氏は、「わが子への愛情の核となるものは、一見対照的とも思える二つの資質で成り立っている」と言っています。それは、「温かいやさしさ」と「ゆずらない強さ」です。

“温かいやさしさ”とは、ゆったりとくつろいで思いやりと愛情を示すことです。他の子どもと比較したり、期待を過度に要求したりせず、目の前の子どもを愛おしむことです。

“ゆずらない強さ”とは、毅然とした態度で臨む――怒らず、弱気にならず、あきらめずに、ルールをはっきりさせて守らせることです。

それは冷たくすることや辛く当たることではなく、愛情のこもった意志に基づく強さです。

この2つのバランスがとれた接し方をすれば、子どもは親が望んでいることから気持ちを逸らすことはないと考えます。

子どもだけの外泊

日没後の子どもだけの外出

無許可でのスマホの学校持ち込み

SNSで知り合った人と子どもだけで会うこと

.....

ならぬことは、ならぬものです

「〇〇さん(くん)もやっている」「子どもを信じないの?」という利己的な論法に怯まずに、毅然と我が子を諫めてください。

学習成果発表会

10月10日(日)に学習成果発表会を開催しました。学習成果発表会は「虹――一人一人が主役となり 感謝の気持ちを奏でる学習成果発表会」のテーマのもと、各学年が総合的な学習の時間の学習成果をステージの部、展示の部で発表しました。1年生は創作劇「もうひとつのシンデレラ」で「御船輝き学習」の時間に故郷御船町や生き方について講話して

いただいた方の話を織り交ぜながら、主体的に生きることの大切さを1年生らしく爽やかに演じました。2年生は劇「御船ふしぎ発見!」で御船町の産業、文化・伝統芸能について、城山などで撮影した映像を用いながら、とてもわかりやすく発表しました。展示の部も調べた結果を工夫を凝らしてまとめていました。3年生は全員の力を結集した点描画を披露しました。

合唱コンクールでは、毎日の練習にクラスが団結して取り組んだ成果をいかに発揮し、各クラスが素晴らしいハーモニーを響かせました。特に3年生の合唱は圧巻でした。心にしみる歌声でした。3年生にとってはかけがえのない思い出となると同時に、その歌声と合唱に取り組む姿勢は1、2年生の心に刻み込まれました。1、2年生が伝統を受け継ぎ、来年以降も素晴らしい合唱コンクールになることでしょう。



夢輝き!教育講演会

10月14日(木)に「夢輝き!教育講演会」を実施しました。講師に中尾有沙さんをお招きして、貴重な話をいただきました。中尾さんは陸上のアスリートとして2015年に日本選手権三段跳種目で優勝されるなど輝かしい記録を残している方です。しかし、トレーニング中のケガで、両足を自由に動かせなくなってしまい、現在は車いす陸上選手としてパリパラリンピックを目指し再チャレンジされています。

講演の中で「自分のできないところに目を向けるのではなく、自分のできるところに目を向ける」、「大きな夢、小さな夢を持ち、チャレンジし続ける人生を送ってほしい」と述べられました。生徒からは、中尾さんの前向きな姿勢に「何かにつまずいたりしたとしても、それをプラスに変えて何事にもあきらめずにチャレンジしたい」などの感想が聞かれました。



選書活動

10月20日(水)に15名の図書委員が参加し、イオンモール熊本蔦屋書店で選書活動を行いました。アンケート結果をもとに図書室に設置する本を実際に手に取って選びました。図書委員長の松本絢和さんは、「楽しく充実した時間を過ごしました。選んだ本をたくさんの人に読んでほしいです。」と感想を述べてくれました。



郡中体連駅伝大会 女子 優勝

10月15日(金)に上益城郡中体連駅伝大会が開催されました。男子はAチームが6位、Bチームが10位でした。女子はAチームが平成16年以来の優勝、Bチームが6位でした。全選手とも夏休みから積み上げてきた練習の成果を発揮してくれました。女子チームは上益城郡代表として11月12日(金)に行われる県大会に出場します。